



## ☆ 協同学習のすすめ ☆



『なんでちがうんだろう?』

これはとっても大切な学習のスタートになります。子どもたちは必至で正解を導こうとします。先生の問いにも懸命に答えていきます。でも自分が考えていることや友達がしていることが必ずしも正しいとは限りません。答え合わせで違っていたり、隣の子と違う答えになっている時、どっちが正しいのか迷っている時が学習の最大のチャンスです。

ひとり一人の学びを進化させるためには、自分のやり方(問題の解き方と考え方)が見直せることに加えて、隣の友達の考え方を理解することがとても重要です。「なぜまちがったのか」をみんなが考えてくれるグループ、「どうしてそうなったのか」をみんなでも話し合っているクラスになるのが究極の目標です。先生方はこの「まちがいを大切にする学習スタイル」をつくろうと必死になって働いています。できるようになるために失敗に学び、ひとりの失敗をみんなの失敗として共有し、励まし合って進化していく子どもたちは本当に頼もしいです。ご家庭でも、できなかった時や間違ったことがあった時にこそ、一度立ち止まって一緒に考えてあげてください。皆さんの協力で進化していく子どもたちを励まし、応援し続けましょう。



私たちとともに『協同』してください!

## ☆ 成長を感じる時 ☆

5年生のピア・サポート活動です。保育園と幼稚園の子どもたちが小学校のプールで水遊び(水に慣れる活動)にやってきました。サポート役の5年生が付き添って、水中じゃんけん列車や宝探しをしていました。よく見ると、5年生は小さい子の肩にそっと手をやり、優しく話しかけています。顔がまだつけられない子には、代わりに宝物を取ってあげています。

小さい子から見ると、大人な5年生がそばにいてくれるので、安心して思いっきり水遊びを楽しんでいるようでした。かわいい歓声がずっとおこっていました。

5年生は自分たちもそうしてもらってきのでしょうね。しっかりした優しい人になることができている様子を見て、成長を感じずにはいられませんでした。

